医学部学士編入NEWS

KALS 河合塾KALS 医学部学士編入講座事務局　2022年9月号

CONTENTS

Page.1　滋賀医科大学令和4年度実施試験　二次小論文Ⅱにかかる雑感

Page.5　事務局より

滋賀医科大学令和4年度実施試験　二次小論文Ⅱにかかる雑感

滋賀医科大学は毎年、二次試験で骨太な小論文試験を課してきます。一次試験の合格発表の日と二次試験の実施日との間が比較的短いため、対策に十分な時間を割くことができない、という方が多いかもしれません。ここでは、令和4年度の問題について、簡単に見ておきます。なお、滋賀医科大学二次試験の小論文Ⅱは、大問2題構成で、令和4年度は、第1問にアダルト・チルドレンを減らすための取り組みについて考える問題が出されました。ここではこの問題は割愛し、第2問を見ることとします。

【問題】

問２　次の文章と図を参考に、以下の設問に答えなさい。

地域まるごとケアとは

地域には、さまざまな人が生活しておられます。高齢で認知症を抱えた人以外にも、脳卒中の後遺症、がんの終末期、難病など、病気による困りごとを抱えた人や、老夫婦世帯、高齢者一人暮らし、子育て中の若い人たち、あるいは引きこもりや貧困など、社会的な困難を抱えた人なども。正直なところ、病院勤務時代は、この人たちをどのように管理しようかと思案しましたが、全くできませんでした。今から考えると、医療だけですべての問題を解決しようとしていたのだと思います。しかし、診療所勤務となり、永源寺地域のように病院や介護施設の少ない地域でそのような人たちを支えるためには、医療と公的な介護サービスのみでは不可能であり、多くの人々のつながりが必要であると気づきました。医師一人では到底できそうにないことであっても、看護師さん、薬剤師さん、ケアマネージャーさん、ヘルパーさん、リハビリのスタッフ、行政、そして、ご近所の方など、多くの人たちとの連携があれば、支えることができることを数多くの人々と関わらせていただくことで学びました。

例えば、病院から退院する時には、薬のこと、リハビリのこと、家での生活上の注意などが説明されます。しかし、それらは「家に帰っても病気をちゃんと管理する」という目的でしかないことが多いのです。でも、皆さん病気を管理するために家に帰ってくるわけじゃないですよね。

診療所での仕事を通し、少し病気から離れて地域に目を向けると多くの「資源」があることに気づきました。それは、自立支援やセルフケアといった「自助」、ご近所さんやボランティアなどの「お互いさん」といったお金の発生しないインフォーマルな支え合いの「互助」、そして私たちが活動している医療保険

や介護保険サービスとしての「共助」、行政などが行うインフラ整備や低所得者への支援、地域福祉計画などの「公助」です。私は、地域の人たちの生活を支えるためにはこれらの「自助」「互助」「共助」「公助」が互いに結びつくことが本当の安心につながるのではないかと思っています。

正直なところ、病院で仕事をしていた時は、「共助」、そのなかでも医療しか経験することがなく、退院後に医療管理以外にどのようなサポートを受けて患者さんが生活しておられるのか、なかなか想像がつきませんでした。しかし、地域に目を向けると私たち医療・介護スタッフ以外にも、数多くの支える人たちがおられたのです。今まで書いてきたように、年老いても、認知症になっても、あるいは障がいを抱えても、地域の人たちがコミュニティの中で支え合って生活をされていたのです。じつはここに、私たちが目指すべき支え合いの地域の姿があるのです。つまり、病気や障がいを支える医療・介護、そして地域コミュニティのなかでの支え合い、それぞれがうまく繋がり合うことなのです。

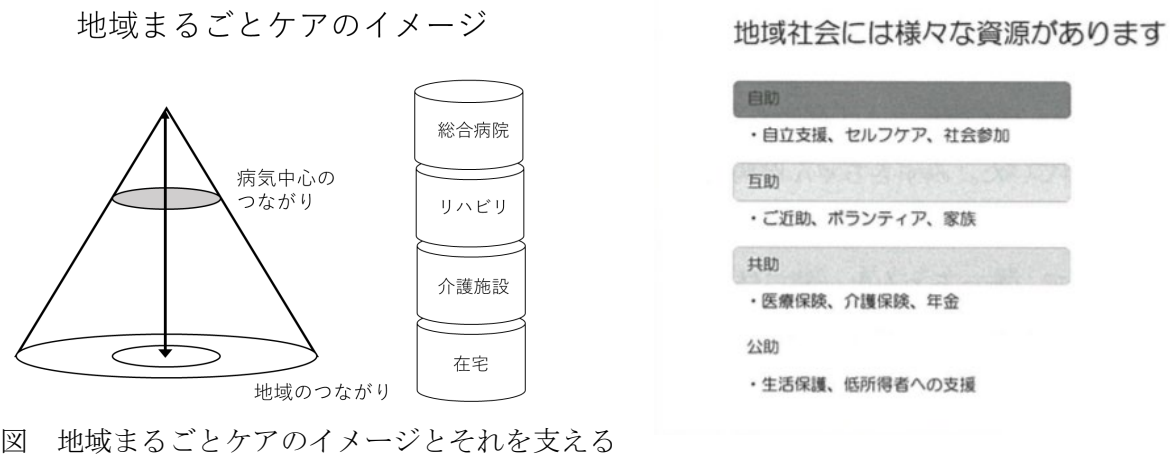


図　地域まるごとケアのイメージとそれを支える地域社会の資源

（文章および図は、花戸貴司「最期も笑顔で　在宅看取りの医師が伝える幸せな人生のしまい方」（朝日新聞出版 2018 年）より抜粋引用）

設問(1)　著者（滋賀県東近江市永源寺診療所・所長）が言う「地域まるごとケア」とは何か、200 字以内で簡潔に記しなさい。

設問(2)　「平成 29 年度人生の最終段階における医療に関する意識調査」（厚生労働省）によると、医療機関で人生の最終段階を過ごしたいと希望する方は 30～50%、実際に亡くなった場所は、「医療機関」75%、「介護施設」10%、「自宅」13%となっています（人口動態調査 2017 年）。一方、滋賀県東近江市永源寺地区では、在宅看取りの割合が約 50%に達しています。なぜ、当該地区では多くの人が自宅で最期を迎えているのでしょうか。あなたの考えを 600 字以内で記しなさい。

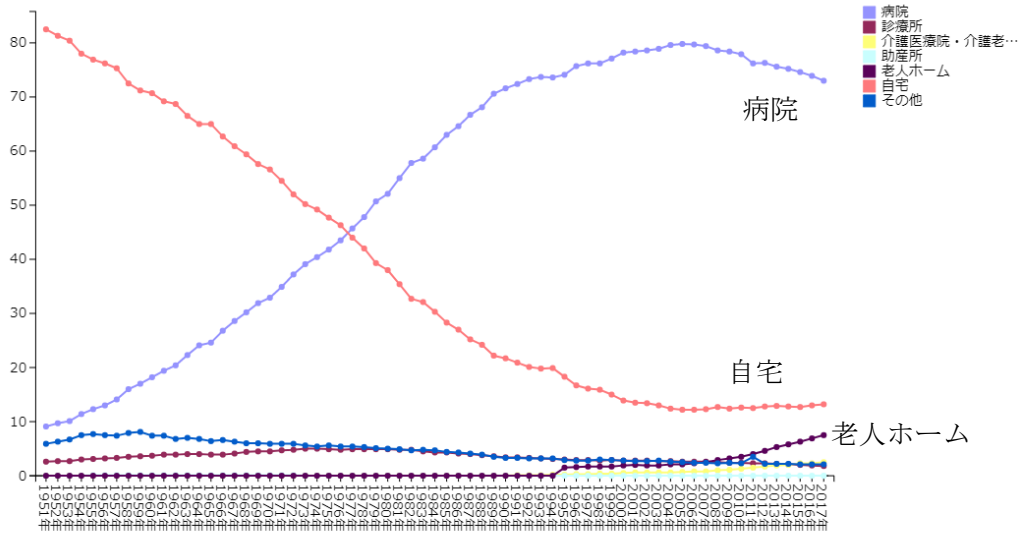
※永源寺地区は、高齢化率が 34%、高いところで 50～80%という集落もあり、10 年後の日本の姿を映しているとも言われています。

設問(1)では、課題文の内容をまとめることが求められています。ややまとめづらいところもありますが、「自助」「互助」「共助」「公助」といった言葉をキーワードにしながら、これらが連携してその地域で暮らす人たちを支える、といったことをまとめる必要があります。特に「地域コミュニティにおけるつなが

り」は非常に重要です。これは「互助」に相当するものですが、図の中でも最も底辺に、すなわち土台として描かれているわけですから、地域まるごとケアとは、自助を促すだけではなく、互助を土台にしながら公助、共助を活用してケアすること、という感じになるかもしれません。

設問⑵ですが、これも設問⑴とのつながりの中で考える必要があるでしょう。すなわち、公助、共助のみならず、地域コミュニティがしっかりしていることで互助がきちんと機能しているから、結果として、障がいや病気を抱えていても、最期まで住み慣れた地域で生活することができる、ということになるかと思います。あるいは、地域包括ケアシステムと関連させるなら、地域包括ケアシステムは自助、共助、公助に関わるものであるものの、互助に相当するものはあまり意識されておらず、ゆえに、そういった互助＝コミュニティの力、支え合いがあってこそ、在宅で亡くなることが可能になるのだ、というようにも言えますね。一見すると設問⑴と離れた内容のようですが、むしろ設問⑴と接続したものと捉えるべきです。

さて、問題とは少し離れますが、「亡くなった場所」についてのデータを見てみましょう。ちょっと見えづらいかもしれません。https://www.e-stat.go.jp/dbview?sid=0003214716 より作成したものです。



一見して分かるのは、2000 年代初頭でピークを迎えた病院死が、その後減少傾向にあることです。図にはありませんが、2019 年で 71.3%になっています。一方、自宅で亡くなる人の割合は 2000 年代初頭から横ばいになっており、2019 年では 13.6%となっています。病院で亡くなる人が減っているのに、自宅で亡くなる人は増えていないとしたら、どこで亡くなっているのか？　そこで浮かび上がるのが老人ホームです。近年増加傾向にあり、2019 年では 8.6%に至っています。

医療費が限られている中で、入院期間を短くしようという方針がとられてきたわけですが、それが「亡くなる場所」にも当てはまっているわけですね。ただし、そのことが在宅死に向かったわけではなく、「介護施設死」に向かったのです。仮にみなさんの認識が「病院死以外の場所での死＝在宅死」だとするならば、それは狭い認識に基づくものだと言えるでしょう。

死に場所として希望されている場所は、やはり自宅が圧倒的に高く、約 60%の人が在宅死を希望しています。しかし、実際にはその希望を叶えることは難しく、病院や介護施設で亡くなる方が多いわけですね。ではどうすれば、在宅死という希望を叶えることができるのでしょうか。

そこでカギになる事柄を、設問⑵で指摘してください、ということになりますね。つまりはコミュニティの力、ということになるでしょうか。無論、地域まるごとケアのようなことが可能になるのは、永源寺地区だからこそ、です。たとえば滋賀の中でも大津や草津といった大都市のベッドタウンのようなところ

では、コミュニティが十分に強くないため、永源寺地区のように地域まるごとケアを行うことは非常に難しいと言えます（言い換えるなら、その地域ごとに、地域まるごとケアの在り方が異なるのであり、ゆえに、その地域の特性を理解することがとても重要、ということでもあります)。

在宅で亡くなりたいという希望を持ちながら、それを叶えることができない理由として挙げられるものは①緊急時をはじめとする医療体制への不安、②経済的な問題、③家族に与える負担、といったものです。コミュニティがしっかりしていることがこういった問題とどのようにかかわるか、考えてみましょう。

付言しますが、老人ホームをはじめとする介護施設での死を否定するつもりはありません。むしろ、介護施設は一つのコミュニティでしょうから、その中で亡くなることは、悪いことばかりではないはずです。ただ、現状は、医療費の関係から病院死を減らすことが最優先され、その受け皿として、介護施設が使われている、ということになるでしょう。そしておそらくこの流れは、今後も続くものと考えられます。そういった流れを踏まえた上で、あなたが考える「地域医療」の姿を、現実に即したものとして提示していく必要があるのだということ、特に志望理由書を書く時には、十分に意識してほしいと思います。

（文責　加賀健司）

事務局より

【緊急・重要／新型コロナウイルス関連】

【注意喚起】 新型コロナウイルス等、感染予防のお願い

【夏期休館のご案内】

以下は校舎の夏期休館期間となります。
過去問閲覧・自習室のご利用などの校舎利用はできませんのでご了承ください。

※お電話やメール等のお問い合わせ窓口もお休みとなります。
※質問書や添削物のご返却は通常よりお時間がかかる場合がございます。

名駅校：8/13（土）～8/16（火）
新大阪校：8/12（金）～8/16（火）

◇入試情報を確認しましょう

情報を入手し次第、以下ページにて、各大学の試験情報をお知らせしています。
各大学の試験日程の一覧・カレンダーも随時更新していますので、ご確認ください。
なお、情報の更新は各大学のウェブサイトと必ずしも連動はしておりませんので、
ご自身でも日頃から受験予定の大学ホームページを確認しましょう。

＜入試情報＞
https://school.kals.jp/information/medical-trn-exn

※更新の際は都度マイルームにてお知らせしています。
＜マイルームトップページ「管理者からのメッセージ」内にも同ページのリンク設置＞

◇【資料】個人面接の質問事項・集団討論のテーマ（2021、2020、2019 年度版）
受験生にご提供いただいた「面接アンケート」をもとに、2021、2020、2019 年度実施の各大学の個人面接質問事項・集団討論テーマを取りまとめ編集した資料を、マイルームにアップしています。
閲覧のみ（印刷不可）の資料となりますが、今後の面接・集団討論の対策として、ぜひご活用ください。
※マイルームトップ ＞ ライブラリページよりご確認ください。

◇【期間限定】医学部学士編入対策 WEB ガイダンス実施済アーカイブ
外部生向けに実施した WEB ガイダンス動画を受講生限定で公開しています。
ぜひご視聴ください。詳細は、マイルーム上の案内をご確認ください。

■ 2/27 実施 「合格者インタビュー（音声のみ）」
■ 5/15 実施 「英語対策 Q＆A」 ※
■ 6/19 実施 「文系出身合格者による FAQ」※
※視聴期限：2022 年 12 月 27 日(火)まで

≪2022年度実施試験対応≫

――――★ 2022 年実施試験対応講座 直前対策講座のご案内 ★――――

■出願書類（課題論文）対策 ＜お申込み受付中＞
既に志望理由を固めていることを前提とし、試験直前期の対策として
各大学のテーマ・文字数に合わせた出願書類の完成を目指す添削完結型講座です。
※お申込みは WEB 申込のみとなります。
＜詳細・お申込はこちら＞
https://school.kals.jp/information/medical-trn-premium2022/dcm2022
※こちらは志望理由が固まっている方を前提とした講座です。

■プレミアム講座 ＜お申込み受付中＞
入試直前期の ONE UP として、過去問分析や発展分野の対策講座を設置いたします。
詳細は KALS HP にてご確認ください。
※全講座 e ラーニングです。
※お申込みは WEB 申込のみとなります。

＜詳細・お申込はこちら＞

https://school.kals.jp/information/medical-trn-premium2022

（生命科学過去問分析／滋賀医科大学の担当講師が変更になりました）

※以下はマイルーム上で詳細・申込方法をご案内しています。

※いずれも**＜本年度入試において面接／集団討論に進まれる方＞**が対象です。

■　**個人面接対策**（お申込み受付中）

本年度入試において面接試験に進まれる方を対象に、模擬を含めた面接対策を行う講座です。

いずれの大学も面接の評価が最終合格を左右します。しっかり対策し本番に臨んでください。

■　**集団討論（集団面接）対策**（各大学学科試験合格発表日お申込み開始）

最終選考で「集団討論(集団面接)」を課す大学では、限られた時間の中でいかに自分をアピールし、なおかつ協調性を示せるかが重要になります。

本講座は講義形式ではなく、ZOOM を使用して討論・模擬面接（グループワーク）の対策を行う参加型の講座です。

――――★　実力テスト・中間テスト　★――――

以下テストは、一斉実施は終了しましたが、毎月、月末締め※で採点を受け付けます。

未受験の方は、各テスト案内ページの「期日後の採点受付スケジュール」をご確認のうえ、

答案をぜひご提出ください。

※各シリーズ受講期限が最終締め切りとなります。

実戦実力テスト

◎受験対象：2022 年実施試験対応講座　全受講生

実戦生命科学　中間テスト

◎受験対象：2022 年実施試験対応　実戦シリーズ「生命科学」受講生

完成シリーズ実力テスト

◎受験対象：2022 年実施試験対応講座　全受講生

※答案最終提出期限：8/31(水)郵送必着

完成生命科学　中間テスト

◎受験対象：2022 年実施試験対応　完成シリーズ「生命科学」受講生

※答案最終提出期限：8/31(水)郵送必着

――――★ 2022 年実施試験対応講座 受講生対象 チュートリアル ★――――

★下記のチュートリアルは、マイルーム配信中です。
　新宿校、名駅校通学生は所属校舎で DVD 視聴も可能です。

「基礎復習テスト 生命科学①②③ 解説講義」 各 120 分
「基礎力判定テスト 解説講義」英語・物理・化学 各 60 分
「受験校の選択」 90 分
　※お詫びと訂正※ 「受験校の選択」動画内で
　「旭川医科大学は TOEFL・TOEIC のいずれかが出願要件」という記載がございますが、
　2021 年度実施試験より提出を要さないことになりました。
「出願書類の書き方」 90 分
「完成生命科学 中間テスト解説講義」 120 分
「完成実力テスト解説講義」生命科学 120 分／英語 90 分
「物理化学　最新の出題傾向と対策」 60 分
「実戦生命科学　中間テスト解説講義」 120 分
「実戦 実力テスト 解説講義」生命科学 120 分／英語 90 分
「第1回公開模試 解説講義」生命科学 120 分／英語 90 分／物理 60 分／化学 60 分

――――★ 2022 年実施試験対応講座 受講生限定講座申込受付中！ ★――――

<u>トップレベル生命科学テストゼミ</u>（全5講／テスト 60 分・解説講義 60 分）
基礎力の固まった方向けの実戦演習です。
得点力、応用力を飛躍的に伸ばすのに好適なテストゼミですので、総仕上げとしてご活用ください。

対象者：2022 年度実施試験対応講座受講生、かつ現在または過去の受講含め、完成シリーズ「生命科学」と実戦シリーズ「生命科学」両方の受講履歴がある方

【WEB 通信講座】 ※申込期限：11/18（金）、答案提出期限：11/30(水)
※LIVE 講義（＋e 補講付）は申込受付を終了しました。

＊＊＊

≪2023年度実施試験対応≫

――――――★ 復習テストのお知らせ ★――――――

基礎シリーズでは知識定着をはかるため、各科目復習テスト（記述式）を実施します。
以下テストの日程を目安にして各科目の復習に取り組み、積極的にテストを受験しましょう。

◎受験対象： 各科目の受講者
◎会場受験（新宿本校・新大阪校）または自宅受験を選択／各科目につき、いずれか1回受験可能

（会場によっては、自宅受験のみの科目があります）
※新型コロナウイルス感染状況により、やむを得ず会場受験を中止する可能性があります。
予めご了承ください。
◎生命科学は範囲を分けて、3 回実施予定
①第 1 講～第 10 講／②第 11 講～第 16 講／③第 17 講～第 25 講
◎試験時間： 60 分（生命科学のみ 90 分）
◎〔物理・化学を学習するための数学〕は実施しません

●詳細はマイルームの、【復習テストのお知らせ】（会場受験、自宅受験）をご確認ください。

――――★ 2023 年実施試験対応講座 受講生対象 チュートリアル ★――――

◇基礎復習テスト 生命科学①解説講義 各-120 分
【マイルーム】 配信中

――――★ 2023 年実施試験対応講座 受講生限定講座のお知らせ ★――――

◆文系のためのミニマム数学【WEB 通信講座】8/16（火）より受付開始しました

生命科学を学ぶ上で、対数、微分などの最低限の知識が必要です。“勉強時間の都合で自習できない”という方を対象に必要最低限の数学（確率・統計は除く）の知識と考え方を勉強していただく講座です。全 3 講（1 コマ 120 分）です。

●詳細はマイルームにてご案内しています。

＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊

≪皆様へのご案内≫

◆生命科学テストバンク【WEB 通信講座】 お申込受付中！

オリジナルの記号式問題演習ツールです。「練習テスト」「模擬テスト」の 2 パターンから構成されており、繰り返し利用することで体系的な知識整理が可能です。
高校範囲を主に扱う「基礎編」と、大学の生命科学に特化した「標準編」のレベルがあります。

▼詳細・お申し込みはこちら▼
【基礎編】https://school.kals.jp/information/medical-trn-14121202
【標準編】https://school.kals.jp/information/medical-trn-141212

◆個別カウンセリングのご案内

マイルーム「個別カウンセリングページ」をご活用ください。

各校舎在籍チューターによる紹介動画を掲載、各チューターの特性や
校舎ごとの実施状況もご確認いただけます。
https://school.kals.jp/information/medical-trn-tutor

※ご予約方法は校舎によって異なります。
※次月分は毎月 25 日頃決定分より順次予約受付開始となります。
※個別カウンセリング利用にあたっては、通学・通信問わず個人登録シートが必要です。
ご提出していない方は、お早めにご提出ください。